

第4 県債及び一時借入金の状況

県債は、県が建設事業や災害復旧事業を行うなど一時に多額の資金を必要とする場合、この財源として総務大臣の同意を得て、または届出を行い、国等から長期に借り入れる資金であり、後年度に一定の償還計画に基づき返還していくものです。令和5年度末における県債の現在高（見込高）は、第16表のとおり1兆4,423億5,018万4千円で、令和4年度末残高に比べ、53億2,207万7千円、0.37%減少しています。

なお、県債依存度と県債年度末現在高の推移及び県民1人あたりの県債現在高は、第18図に示したとおりです。

また、一時借入金は、予算執行にあたって歳計現金の資金繰りに不足を生じた場合、一時的に予算に定められた範囲内で市中銀行から借り入れるものです。令和5年度においては、資金繰りの必要から最大43億円の借入れを行いました。全額償還しています。

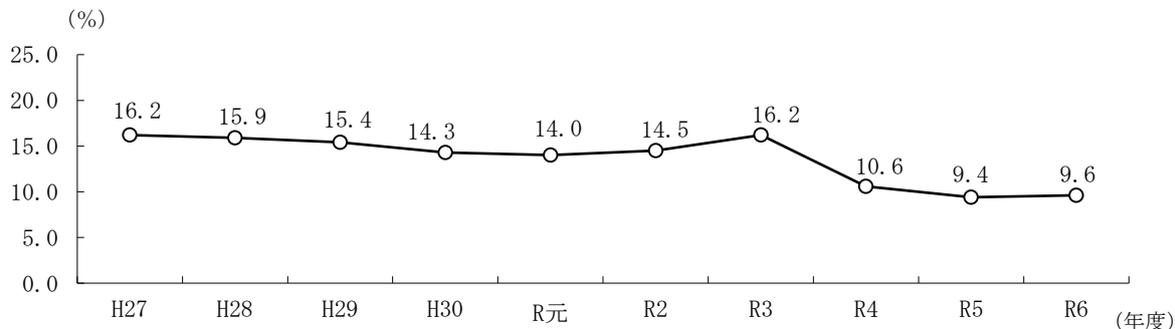
第16表 令和5年度末における県債の現在高（一般会計及び県債管理特別会計、事業別）

（単位：千円）

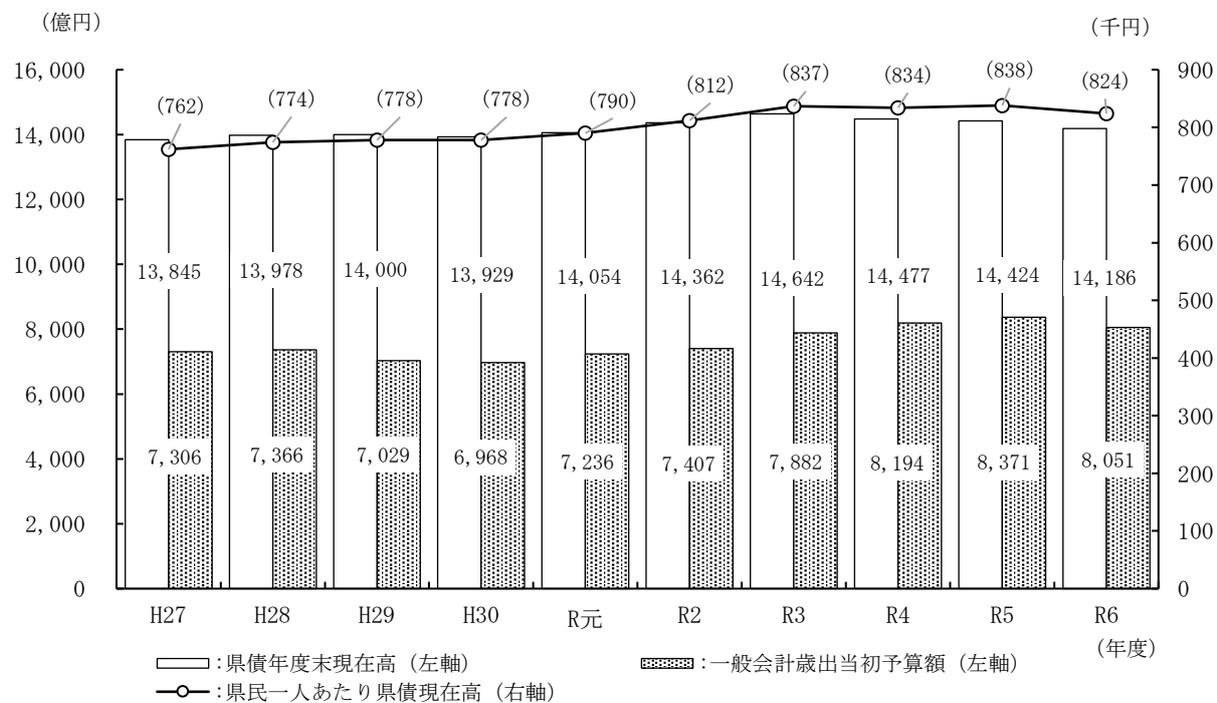
	現在高（見込高）
公共事業等債	355,765,030
一般単独事業債	265,147,289
公営住宅建設事業債	1,117,611
災害復旧事業債	27,125,416
首都圏等整備事業債	266,563
教育・福祉施設等整備事業債	15,851,478
退職手当債	10,708,500
臨時財政対策債	525,971,445
減税補てん・減収補てん債	66,846,902
その他	173,549,950
合計	1,442,350,184

第18図 県債依存度と県債年度末現在高の推移（一般会計）

(1) 県債依存度（当初予算（平成27年度、令和元年度は6月補正後））



(2) 県債年度末現在高



(注) 年度末残高及び県民一人あたりの県債現在高の令和4年度以前の数値は決算額、令和5年度、令和6年度は見込額を基準にして計算してあります。なお、県債管理特別会計との合計額です。